



南房総のハズシ



適切な指導・必要な支援を円滑に継続していくために



年度末を迎え、学校では指導の評価とまとめを行い、引継ぎの準備が進められていることと思います。県教育委員会では、各学校において個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用を図り、二つの計画を活用した引継ぎを実施することで、切れ目ない一貫した指導・支援を促進しています。本人や保護者の同意の下、学校間や学校と関係機関との連携を強化し、適切な指導と必要な支援を円滑に継続していくために「特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の個別の教育支援計画及び個別の指導計画を活用した引継ぎについて」（令和6年2月2日付け教特第1001号）を発出しました。この資料より内容を抜粋してお知らせします。

Q：「二つの計画を活用した引継ぎ」とはどんなことを指しますか？

A：本人や保護者の同意を得て、進学先や、進級後の担当者に二つの計画を活用した丁寧な説明を個別に行うことを指します。なお、進学等で学校が変更になる際には、適切な指導や必要な支援が切れ目なく続くように、本人や保護者の同意を得て、計画（写し）を進学先の担当者等に渡すようにしてください。

Q：「二つの計画を活用した引継ぎ」はなぜ必要なのですか？また、どんな効果が期待できますか？

A：今まで受けていた指導・支援の内容を二つの計画に明記して引き継ぎ、学年や学校種、担当者が変わっても、継続して指導・支援を受け、生活や学習上の困難さを軽減して、安心した学校生活を送ることができるようになるために必要です。特に進学する際の課題（小1プロブレム・中1ギャップ・高1クライシス等）においては、二つの計画を活用して対応することで、年度始めをスムーズにスタートすることができるようになります。引継ぎの効果としては、以下のようなことがあげられます。

- ①適切な指導・必要な支援を切れ目なく継続的に行うことができ、本人の困難さを軽減することができる。
- ②学習面や生活面の課題等を早期に把握することで、各種指導計画を早い段階で適切に立てることができる。
- ③得意なことや苦手なこと等を事前に知ることによって、本人にとって有効な活躍の場を与えることができる。
- ④課題が再び現れた時、対応を講じる際の有効な情報として役立つ。

Q：「二つの計画の保存及び管理」では、どのようなことに留意する必要がありますか？

A：計画に記載された個人情報や漏洩したり、紛失したりすることがないように、学校における個人情報の管理の責任者である校長が適切に保存・管理しましょう。保存期間に関しては、指導要録の指導の記録の保存期間を参考として、5年間の望ましいです。転学や卒業等で学校が変更になる際には、原本を保護者へ渡し、学校は写しを保管しましょう。

詳しくは資料をお読みいただき、一人一人の幼児児童生徒に応じた切れ目ない支援体制の充実のために、二つの計画を活用した効果的な引継ぎをお願いします。

学校訪問で見つけた

キラッと光る手立ての工夫

＜小学校 知的学級 算数

「三角形」(3年)

「場合を順序よく整理して」(6年) >

特別支援学級で、一人の授業者が複数の学習内容を同時に扱った指導例です。

◎それぞれのグループが学習に取り組みやすいように、教室内の配置の工夫がありました。教室の前後に黒板とホワイトボードを置いて分かれて座ることで、互いが気にならず、集中して取り組むことができました。

◎2つのグループに分けて、それぞれの学習内容を用意しています。授業者の指導時間と、児童が練習問題などの課題に取り組む時間を組み合わせて授業を展開しています。授業者の動きが整理されていて、動線もスムーズです。

◎指導場面の切り替えで授業者がもう一方のグループに移る際には、児童が自力で課題解決に取り組んでいるか確認してからその場を離れ、また戻ってからはノートやワークシートをていねいに見て評価していました。

☆取り組みやすい自力課題の出し方の例☆

○初めてではなく既習のもので、進め方がわかる、自力で取り組める課題を提示する。または、手順表やヒントカードなどで進め方を示す。

○わからないときの対応を約束しておく。教科書で調べる、解答を確認する、とばしてできるものを優先にする、など授業者を呼ばずに済む方法を示しておく。

○集中力が持続する時間、取り組み可能な量を提示する。

○見通しがもてるように、終わりの時間を時計やタイマーで示す。

○始めに、課題に取り組んでいるか確認してからその場を離れ、終わりには必ず戻り、自力で頑張れたことを称賛して、解答を確認する。

③展開		④まとめ	
「三角形」(A児、B児)		「場合を順序よく整理して」(C児、D児)	
過程・時配	学習活動と内容	過程・時配	学習活動と内容
[1分]	1 本時の学習の流れを確認する。	[1分]	1 本時の学習の流れを確認する
見出す [6分]	2 カードゲームを行う。 ・交代で黒板カードをめくる。	見出す [5分]	2 問題を読んで読解をつかむ。 アップル、オレンジ、グレープ、ピーチの4種類のジュースが1本ずつあります。 CさんとDさんが1種類ずつ選びます。 2人の選び方は何通りありますか。 ・1種類ずつ選んでみる。 ・変えてみる。 ・調べる方法を考える。 3 学習問題を考える。 全ての場合を調べるには、どうしたらよいだろう。
見出す [7分]	3 問題を読んで読解をつかむ。 色紙で二等辺三角形や正三角形をつくろう。 ・できそう or できなそう ・二等辺三角形はできる。 ・正三角形は難しそう。	自分で取り組む [8分]	4 自分ですべての場合をかき出す。 ・樹形図を使う。 C D C D A O A ア グ オ グ ビ ビ C D C D グ ア ア オ オ ビ ビ
[3分]	4 学習問題を考える。 (長さを測らずに。)色紙をおったり切ったりして、二等辺三角形や正三角形をつくるにはどうしたらよいだろう。	自分で取り組む [8分]	5 お互いの答えを確認し合う。 ・調べたことを説明し合う。 ・先に、自分が何を選んでも残りは3種類になりますね。 ・全部で12通りあります。 ・3通り×4種類で12通りになります。 ・樹形図を使ったらできました。
自分で取り組む [8分]	5 自分で折ったり切ったりしてみる。 ○二等辺三角形 ① 半分におる。 ② ひらいているちょう点からおった辺に重線をひく。 ③ まっすくに切る。 ○正三角形 ① 半分におる。 ② ひらく。 ③ かなたのちょう点とまん中のおり目を合わせており目がちょう点に合うようにおいてちょう点のところにしるしをつける。 ④ しるしが見えるように、半分におる。 ⑤ しるしとちょう点をむすぶ重線をひく。 ⑥ まっすくにきる。	広げ深める [5分]	6 次の問題に取り組む □ □ □ □の4枚のカードがあります。 ① この4枚のカードのうち、2枚を並べてできる2けたの整数をすべてかきましょう。 ② この4枚のカードのうち、3枚を並べてできる3けたの整数をすべてかきましょう。 ① 1 1-0 2-0 3-0 2 -2 -1 -1 3 -3 -3 -2 ② 0-1-2 1-0-2 2-0-1 3-0-1 3 -3 -3 -2 -1 -2-0 -1-0 -1-0 -3 -3 -3 -2 3-1 -3-0 -3-0 -2-0 2 -2 -1 -1
広げ深める [8分]	6 お互いのやり方を確認し合う。 ・自分で作成した図形を見せ合う。	広げ深める [5分]	7 次の問題に取り組む。 そうたさんの学年は、3クラスあります。 クラスの旗を、赤、青、黄、緑の4色からそれぞれがう1色を選んでつくります。 何とおりのつくり方がありますか。 A B C 赤 青 黄 青 黄 緑
まとめあげる [8分]	7 学習のまとめをする。 正方形を半分において、辺の長さを同じにして切ると、二等辺三角形や正三角形ができます。 ・重なってはいれば同じ長さになります。 ・同じ辺が重なっていることを確認する。	まとめあげる [6分]	8 学習の振り返り。 樹形図
[7分]	8 練習問題を解く。 鳥のまわりから、二等辺三角形や正三角形の形をしたものを見つけましょう。	まとめあげる [6分]	

授業の始めには、復習問題や、意欲を高める自立活動のねらいを含んだ活動などを行います。

自力課題で授業が終わる場合にも、必ず最後に、取組状況を確認して、頑張れたことを評価します。

授業者が指導時間を確保するためにも、課題の用意や出し方が大切です。

授業者の動き … □→□